

# 「旧荏原第四中学校跡地活用方針（素案）」

## へのパブリックコメント

期 間：令和5年12月1日～28日

意見提出者数：24名（63件）

## 区民の皆さまからいただいたご意見と区の回答一覧

	(意見数)	(掲載ページ)
1 旧荏原第四中学校の概要	7件	P1
2 施設整備需要など	5件	P3
3 コンセプト	5件	P4
4 導入施設	33件	P5
5 施設の方向性	—	—
6 整備にあたり期待すること	—	—
7 その他	13件	P10
	意見原文	P13

※お寄せいただいたご意見のうち、複数の分野に該当するものは分割して掲載しています。

※ご意見は「旧荏原第四中学校跡地活用方針（素案）」の章立てをもとに、区分しています。

※回答中に記載の「(P〇〇)」は、「旧荏原第四中学校跡地活用方針（素案）」における掲載頁を示しています。

**品川区企画部**

1章 旧荏原第四中学校の概要

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
1-01	1章 旧荏原第四中学校の概要	「連続立体交差化計画や戸越公園駅交通広場等の計画が進められています。」としているが、第三者が進めているような書き方である。施主は誰であるか主語を記載すべきである。また、品川区は、この交通計画において、どのような役割を果たしているか記載すべきである。	34	ご意見を踏まえ、P8の記述を修正いたしました。東急大井町線連続立体交差事業は東京都が主体となって進めている事業です。一方、戸越公園駅交通広場の整備事業は区が進めている事業です。
1-02	1章 旧荏原第四中学校の概要	市街地再開発事業について、どのような公共施設の整備がなされるのか、地域住民がどのように参画しているのかも含め記載すべきである。	35	市街地再開発事業は、地区内のまちの課題解決に向けて、地区内の権利者が主体となって進められている事業です。
1-03	1章 旧荏原第四中学校の概要	この市街地再開発事業で10棟ものタワマンが作られると聞いているが、全容を示すべきである。	36	現時点で、戸越公園駅周辺において事業中の市街地再開発事業は、本方針に記載されている事業のみです。
1-04	1章 旧荏原第四中学校の概要	この市街地再開発事業が区民にとってメリットとなることは何か、必要な公共公益施設が整備できているのか、説明すべきである。	37	区では、本事業により、防災性の向上や幅広い年代の定住人口の確保による地域の活性化が図られることに加え、不足しているオープンスペースや緑地の確保がなされることから地域の課題解決に寄与するものと考えております。
1-05	1章 旧荏原第四中学校の概要	四中跡地だけで、狭い区域内の区民のニーズを満たす施設を整備するのではなく、駅前の広大な土地に民間開発事業者の利益をもたらすのだから、区民にとって利用できる福祉施設や文化施設を整備するよう、戸越公園全体を見据え、それぞれにあった施設を整備するよう誘導すべきである。	38	ご意見として承ります。

2章 施設整備需要など

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
1-06	1章 旧荏原第四中学校の概要	500m圏内の話をしているのに、人口は区全体で見ているため、このエリアの人口と人口構成を示すべきである。	40	第1章の500m圏内の状況については、旧荏原第四中学校の周辺施設等の現況を示すものです。一方、旧荏原第四中学校の跡地は大規模区有地であり、周辺地域に限らずにご利用いただく視点が必要であるため、人口は区全体で表記しております。
1-07	1章 旧荏原第四中学校の概要	民間事業者と大地主だけがベネフィットをうけるかのような再開発事業に見えるが、市街地再開発事業は区は、そのような立場でかかわっているのか。推進したいのであれば、既に居住している地区内や周辺住民にとってメリットのあるような開発にする必要がある。	41	市街地再開発事業は、地区内のまちの課題解決に向けて、地区内の権利者が主体となって進められている事業です。

2章 施設整備需要など

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
2-01	2章 施設整備需要など	世論調査は、どんな人を対象に、回答率がどのくらいだったのか、結果がどこかに公表しているなら、そのURLを記載すべきである。	42	令和4年度に実施した第25回品川区世論調査は、品川区在住の満18歳以上の男女個人（令和4年7月1日現在）のうち2,500人を対象として、1,197人から回収されております（回収率：47.9%）。ご意見を踏まえ、P10世論調査の出典を追記いたしました。
2-02	2章 施設整備需要など	赤字は上位3位か。複数回答なので、回答率を表しているのか説明すべきである。	43	ご指摘のとおり、赤字は上位3位です。また、回答率については、P10に記載のあるとおり、複数回答によるものです。
2-03	2章 施設整備需要など	世論調査の福祉施設ですが、全体では31.7%で第4位であり、第3位の子育て施設が32.0%で誤差の範囲内であるので、ほとんど同率と言えるため、これも赤字にすべきである。	44	8つの施設類型のうち、上位3類型について赤字としております。
2-04	2章 施設整備需要など	地域要望として、「避難所機能の確保」や「校庭や体育館の地域開放を継続」などがありますが、地域要望の根拠があるなら、その出典を記載すべきである。	45	地域要望として、近隣町会から避難所機能の確保、校庭や体育館の地域開放などのご要望をいただいております。また、旧荏原第四中学校は区民避難所として指定されており、今後も地域の防災拠点として役割を担う必要があります。
2-05	2章 施設整備需要など	行政需要について、荏原地域の障害者施設が不足していること、心身障害者福祉会館の仮移転先が見つからないということは、行政需要にならないのか、この3項目のみが特出しの理由を示すべきと考える。当該地区の要望の第一の福祉保健施設が不足していることを行政需要に含めることを希望する。	46	ご意見として承ります。

### 3章 コンセプト

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
3-01	3章 コンセプト	方針の中にサードプレイスが組み込まれていることに嬉しく思う。ただの場所を創るのではなく、子どもたちが「安心して対話をしたり、過ごせる」場所を一緒に創っていきたい。	21	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
3-02	3章 コンセプト	年代を特定せず誰もが活用できるコンセプトは賛成。	24	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
3-03	3章 コンセプト	「障害者やLGBなど、マイノリティと呼ばれる人達も共に生切る多様性のある社会」も加えてほしい。	31	P14コンセプトに記載のとおり、障害のある方々や外国人など、多様な人々の交流拠点として施設のコンセプトが設定されており、ご意見の考えも含むものと考えております。
3-04	3章 コンセプト	ワークショップで挙げられた「障害者・高齢者・外国人・若者などの居場所」について、コンセプトから外れた理由を教えてください。	47	ワークショップで挙げられた「障害者・高齢者・外国人・若者などの居場所」という考え方と、ワークショップにおける複数のグループのご意見・ご提案や、策定委員会におけるご意見も踏まえて、「多様な人々が集い・学び・助け合い・心と体の健康を育む交流拠点」というコンセプトを設定させていただきました。サードプレイス（P15参照）という考え方にに基づき、障害者・高齢者・外国人・若者などが、家・学校・職場等以外で居心地良く過ごせる場となることを目指し、今後の基本計画等において検討を深めてまいります。
3-05	3章 コンセプト	地域に根差した多様な活動・交流が可能となる場、地域の暮らしの拠点としての魅力・機能の向上に資するような「みんなの学び場」としているが、もっと自然に「居場所」としてはどうか。	51	施設のコンセプトとして、多様な人々が一緒に学ぶことにより「交流拠点」となることがあげられています。「学び」はコンセプトの一部であり、その他「安全安心を支える場」「誰も取りこぼさない助け合いの場」「豊かな心と体の健康と育む場」とともに、交流拠点となるよう検討を深めてまいります。また、P15に記載のとおり、「家・学校・職場以外で居心地良く過ごせる場」としてサードプレイスの観点も重視されています。

4章 導入施設

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
4-01	4章 導入施設	使われないコミュニティセンターなど箱物よりも、壊して植林して都会の森を作ってもらいたい。ハコは、永遠にコスパが悪く利用者もいないが、維持費がかかる。	01	策定委員会においても提案があったように、みどりを配置できるよう検討してまいります。また、管理運営にかかる費用や区の負担を抑える方法も含めて、今後の基本計画や設計段階で精査してまいります。
4-02	4章 導入施設	人口減は否めない時代、箱物を無理矢理造るのも時代錯誤であり、木を植えて小さな森を造っては如何か。維持費もさほどかからないと思う。少なからずCo2対策に大。	02	策定委員会においても提案があったように、みどりを配置できるよう検討してまいります。また、管理運営にかかる費用や区の負担を抑える方法も含めて、今後の基本計画や設計段階で精査してまいります。
4-03	4章 導入施設	特別養護老人ホームと幼保一体型複合施設を併設したら良い。	03	ご意見として承ります。
4-04	4章 導入施設	体育館を利用してスケートボードパークを作ってもらいたい。	04	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-05	4章 導入施設	区の中央部には健康センターがないこともあり、単なる体育館でなくトレーニングジム設置をお願いしたい。	07	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-06	4章 導入施設	足立区のギャラクシティ、日立市シビックセンターの科学館、明石市のハレハレ、豊橋市のココニコのような子どもが集まる施設を考えてほしい。	08	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-07	4章 導入施設	カフェまで作る施設なら単なる箱モノでなく、行きたくくなるような居心地の良さも追求してもらいたい。田園調布せせらぎ館が参考になると思う。	09	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-08	4章 導入施設	荏原四中跡地を大人も子どもも楽しめる漫画ミュージアムにしてほしい。	11	ご意見として承ります。
4-09	4章 導入施設	地域の方の役に立つ場になればよい。	12	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。

#### 4章 導入施設

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
4-10	4章 導入施設	お休みの日に家族が気軽に遊べるような場所ができる とよい。	13	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-11	4章 導入施設	総合スポーツ関連施設。	14	ご意見として承ります。
4-12	4章 導入施設	駅から近いという利点を生かし、子供から高齢者まで 地域住民に限られず、幅広く付き合える施設。	15	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-13	4章 導入施設	早朝から使用できる施設（スペース・カフェ等）。	16	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。また、施設の利用可能時間等につきましても、今後検討を深めてまいります。
4-14	4章 導入施設	近所の小学校もビオトープをひろげて、近所の人たち に見せていた。	18	旧荏原第四中学校においても、策定委員会で提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-15	4章 導入施設	パネル展示のとおり施設ができるとうれしい。	19	今後、基本計画策定に進んでまいります。しっかりと検討を深めてまいります。
4-16	4章 導入施設	運動場や体育館等広い場所が地域にあることで、地域 住民の方はもとより、保育園児達がのびのび遊べる という場所になってほしい。自然に触れられるよう植栽 もたくさん植えられると良い。	20	策定委員会においても提案があったように、みどりを配置できるよう検討してまいります。また、策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-17	4章 導入施設	図書スペースを広くし、みどりを多くして欲しい。	22	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。

#### 4章 導入施設

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
4-18	4章 導入施設	フリースクールの設置の検討。	23	ご意見として承ります。
4-19	4章 導入施設	マンションや大きな商業施設ではない、モノづくりなどの創作活動をしている人たちへの場所提供や市民が使える貸し会議室などになってくれるとうれしい。	25	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-20	4章 導入施設	公共性の高い施設、従来の縦割りの弊害のない、柔軟な発想の施設。	26	本方針はこれまで「旧荏原第四中学校跡地活用方針説明会」において、様々な異なる立場の委員により検討を深めてまいりました。より多くの皆様にご利用いただける施設となるよう、今後基本計画等においてさらに検討を深めてまいります。
4-21	4章 導入施設	発達障害の成人期以降の当事者活動、及び自立生活準備の拠点を設置してほしい。	27	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-22	4章 導入施設	カフェ・レストランを設置し、そこで発達障害の人たちが働く訓練ができる場所を作ってほしい。	28	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-23	4章 導入施設	文化・芸術の発信拠点としての役割を担う場所、具体的には、誰でもが自由に絵を描くことができ、展示できる場、楽器を奏でて、歌えて、踊れる場、コスプレを楽しむことができる場、芸人の卵たちが発表できる場、などを設置してほしい。	29	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-24	4章 導入施設	共生社会のモデルとして、子ども、障害者（重身を含む）、外国籍の人たち、高齢者（認知症を含む）、動物の飼い主（動物も含む）など、垣根のない人たちの集える場としてのカフェ・ドッグランを設置してほしい。	30	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。



#### 4章 導入施設

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
4-25	4章 導入施設	障害者施設の中でカフェをつくるのではなく、多くの人が訪れる公共施設の中に、障害者が活躍できる機能を希望する。カフェや、施設内の壁面を活用した障害者アートの展示など、様々な活動を民間委託事業者だけに独占させるのではなく、障害者施設の運営法人や非営利組織等と協働し、多様性社会を創っていきましょう。	39	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。
4-26	4章 導入施設	第三次のニーズである芸術活動などに特化する施設は、ぐるっばで十分と考える。ぐるっばにできた美術館は、何も展示されず、別の用途に使用しているが、その理由教えていただきたい。責任をもって、ぐるっばで推進されることを希望する。また、特別な才能のある作品を探すことは、国としての事業で、区の事業として適していたとは思えない。	49	ご意見として承ります。
4-27	4章 導入施設	ほとんどの障害者は、主に公共交通機関を利用している。四中のような利便性が高い場所で、「自家用車」を利用するとしているのは、違和感がある。	52	車の乗降に広いスペースが必要な車いす使用者やその他の障害者、高齢者等がともに利用しやすい駐車場の整備の検討を深めてまいります。
4-28	4章 導入施設	障害者アートを障害者施設内に展示するよりも、街中の空き店舗やカフェ、エコル戸越等の公共施設の壁面、商店街のフラッグなど、まち中に展示し、美術館にしてはどうか。新宿区や豊島区では、障害者アートではないが、区民の作品を様々なところで展示している。障害者の理解増進のためには、特別な施設内の活動ではなく、街中での生活に溶け込むような活動がよいと思う。	53	ご意見として承ります。

#### 4章 導入施設

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
4-29	その他	障害者の就業支援施設のニーズについて、カフェばかりがあげられているが、アンケートを取っているのであれば、その根拠をもとに素案を作成すべきである。	54	障害者の就業支援施設については、アンケートは実施しておりません。引き続き、カフェだけに捉われず、基本計画等の段階において、幅広く検討してまいります。
4-30	4章 導入施設	導入施設については、なぜそのニーズを選定したのかわかる、アンケート結果等を抜粋して示すべきである。	56	品川区世論調査、地域要望、ワークショップを通じて、区民ニーズの把握に努めてまいりました。なお、旧荏原第四中学校跡地活用のアンケートは単独では実施しておりません。
4-31	4章 導入施設	ワークショップにも参加したが、その時の意見が様々な反映されていることを嬉しく思う。不登校児童のための学び、体験の場も「適応指導教室」と、現時点で限定しない方がよいと考える。サードプレイスというならば、「復帰」を目的としない、その子その子にあった学び体験のできる新たな仕組みの場にする可能性を持たせてほしい。	59	品川区では不登校対策として、適応指導教室において様々な理由により不登校の状況にある子どもたちに対して、学校復帰と社会的自立ができるようにしていくための支援を行っています。今後も、不登校児童・生徒数の増加は続き、適応指導教室の需要も増える見込みです。不登校対策は、適応指導教室を基軸としつつ、P21「施設整備の方向性」に記載のとおり、サードプレイスとしてもハードおよびソフト面の検討を深めてまいります。
4-32	4章 導入施設	スポーツ施設と比べて、焚火ができたりする野外活動スペースは区内でもとても少ないのが現状であり、全面ではなくても、プレイパークのように子どもが多世代と交流しながら主体的に体験できる場所を求める。	60	ご意見として承ります。
4-33	4章 導入施設	近隣に環境学習施設「エコル戸越」があることから、これと連携できる文化的な施設（図書館機能を備えた施設）を中心にする、相乗効果を発揮し、多角的な学びの場として機能する。沿線の大井町線には東京工業大学があり、アカデミックな環境も整っている。SDGsの環境分野を分け隔てなく学ぶことができる施設になるように期待する。	62	ご意見として承ります。

その他

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
7-01	その他	旧荏原第四中学校が現在は豊葉の杜学園になっていることから豊葉の杜学園周辺までを包括した計画を策定してもらいたい。	05	ご意見として承ります。
7-02	その他	品川区は体育館、図書館、児童センターといったハードはあるが、ソフトが貧弱だと常々思っている。今回も多目的スペース、交流スペース、カフェがあるスペースと場所ばかり。	06	今後の基本計画等において、ソフト面を強化し、魅力的な施設となるよう検討してまいります。
7-03	その他	こちらに図書館ができて二葉図書館は絶対になくしてほしくない。	10	ご意見として承ります。
7-04	その他	長期にわたる計画であるため大変かと思う。	17	今後、基本計画策定に進んでまいります。しっかりと検討を深めてまいります。
7-05	その他	区内には、老朽化しバリアフリー化すらできていない公共施設がたくさんあるのを踏まえ、荏原地域全体のニーズを踏まえた活用方針を策定すべきである。	32	ご意見として承ります。
7-06	その他	荏原地域全体の避難所、特に福祉避難所の総点検をすることを要望する。そして、防火や耐震性能のない施設で、障害者や高齢者の要支援者の施設がある場合、まずは、これらの施設を改築することを検討すべきである。	33	ご意見として承ります。
7-07	その他	老朽化している公共施設、特に不足する障害者施設の整備計画をたて、改築を進め、仮移転場所に四中跡地も検討することを希望する。	48	ご意見として承ります。

その他

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
7-08	その他	旧荏原第四中学校と同様に福祉避難所になっている心身障害者福祉会館は、既存不適格な箇所が複数あり、災害時の安全性が確保されていない。改築の陳情をしたときに、「いつ起きるかわからない災害にはすぐに備えられない」と不採択になり、今回の素案の内容とどちらが区の考え方なのか、教えていただきたい。四中だけでなく、区民の避難所となる施設は、国も補助金を拠出して、防災対策を進めている。品川区も国の方針を踏まえ、早急に避難所の改築・改修を進めるよう希望する。	50	ご意見として承ります。
7-09	その他	区全体の公共施設の立地と築年数やバリアフリーの状況を示した上で、区域全体で見て、平等に体育施設等の区民利用施設の立地を検討することを希望する。	55	ご意見として承ります。
7-10	その他	バリアフリーの検証は、複数の障害者団体に声をかけ、当事者も参加できるよう希望する。	57	ご意見として承ります。
7-11	その他	策定委員会に参加した団体の選定理由を教えてください。	58	各団体の規模等を総合的に勘案しつつ、実情に通じた方のうちから、中立かつ公正な立場で審査を行うことができる方に、委員を委嘱しております。
7-12	その他	素案にある通り、マイノリティーと言われる方々も含めた、多世代の人の交流の場、コミュニティが生まれる場であることを願う。運営は指定管理や委託になるとしても、コミュニティワークの専門家が常駐する施設になることを強く望む。	61	策定委員会において提案されているコンセプト等に基づき、導入施設の詳細については、今後基本計画等において検討を深めてまいります。また、施設の運営方法についても今後検討してまいります。

その他

※意見番号は、P13以降に掲載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
7-13	その他	旧荏原第四中学校跡地は、近隣に高層建築物が建つことを考えると、オープンスペースのスポーツ施設・公園ができると、ビル風による風害で、スポーツをする環境が害される恐れがある。グラウンドでの球技やバランスを要する競技を想定するのであれば、風による影響を極力小さくするような工夫が必要。	63	今後の設計段階において、風による影響も配慮した検討を行います。

意見番号	意見原文
01	どうせ使われないコミュニティセンターなど箱物として残すなら、壊して植林して都会の森を作ってもらいたい。ハコは、永遠にコスパが悪く利用者もいないが、維持費がバカのようにかかる。
02	小生、荏原4中の卒業生で70代の初老です。私が入学した年は、教室が不足し臨時教室が有り懐かしき時代です。この4中も人口減の影響で他校と統合され面影は無く、今年も新型コロナワクチン接種に行き当時のおもいでに馳せました。さて、跡地の提案として小生が考えるに、人口減は否めない時代、いたずらに箱物を無理矢理造るのも時代錯誤です。今の時代もう成長期の世の中では有りません。しかるに、木を植えて小さな森を造っては如何でしょうか？維持費もさほどかからないと思います。少なからずCo2対策に大。
03	特別養護老人ホームと幼保一体型複合施設を併設したら、良いのではないかと思います。
04	体育館を利用してスケートボードパークを作っていただきたいです。今、オリンピックでスケートボードが人気になっています。ですが、品川区には室内のスケートボード施設がありません。スケートボード施設では、インラインスケートも一緒にできます。若者が楽しめる施設をどんどん作ってほしいです。
05	戸越公園駅はタワマン建設に伴いスーパー開店等活気づいているが、隣の下神明駅は住吉踏切の工事が中断したままフェンスが広がる風景が続いており、また区役所が移転し遠くなるとのことで、駅利用者が減少し周辺が更に衰退するのではと懸念している。別途まちづくり計画を策定していただきたいが、こちらでも旧荏原第四中が現在は下神明駅すぐの豊葉の杜学園になっていることから豊葉の杜周辺までを包括した計画にしてもらいたい。
06	品川区は体育館、図書館、児童センターといったハードはあるが、ソフトが貧弱だと常々思っている。今回も多目的スペース、交流スペース、カフェがあるスペースと場所ばかり。
07	区の中央部には健康センターがないこともあり、単なる体育館でなくトレーニングジム設置をお願いしたい。

意見番号	意見原文
08	足立区のギャラクシティ、日立市シビックセンターの科学館、明石市のハレハレ、豊橋市のココニコのような子どもが集まる施設を考えてほしい。
09	カフェまで作る施設なら単なる箱モノでなく、行きたくなるような居心地の良さも追求してもらいたい。田園調布せせらぎ館が参考になると思う。
10	こちらに図書館ができて二葉図書館は絶対になくしてほしくない。
11	京都にある漫画ミュージアムは小学校の跡地を活用し、地元からも愛されて、他の都道府県からも人を集める観光スポットになっています。入場料を設定すれば維持管理コストを賄える可能性もあります。ぜひ、荏原四中跡地を大人も子どもも楽しめる漫画ミュージアムにしてください。https://kyotomm.jp/
12	地域の方の役に立つ場になればよい。
13	お休みの日に家族が気軽に遊べるような場所ができるとよい。
14	総合スポーツ関連施設
15	駅から近いという利点を生かし、子供から高齢者まで地域住民に限られず、幅広く付き合える施設。具体的な案がなくてすいません。
16	早朝から使用できる施設（スペース・カフェ等）。
17	長期なので大変かと思いました。
18	近所の小学校もビオトープをひろげて、近所の人たちに見せていました。
19	パネル展示の通りに出来るとできるとうれしいです。

意見番号	意見原文
20	運動場や体育館等広い場所が地域にあることで、地域住民の方はもとより、保育園児達がのびのび遊べるという場所になってほしいと思います。自然に触れられるよう植栽もたくさん植えられると良いですね。
21	新しく建てられる施設として、方針の中にサードプレイスが組み込まれていることとう嬉しく思います。また、ただの場所を創るのではなく、子どもたちが「安心して対話をしたり、過ごせる」場所を一緒に創っていきたいなと思いました。
22	図書スペースを広くして欲しい。みどりを多くして欲しい。
23	孫の不登校（小1）があり、フリースクールの検討が出来ないか考えており。
24	年代を特定せず誰もが活用出来るコンセプトはさんせいです！！
25	中延5丁目在住なので近くには住んでいないのですが、投稿いたします。 マンションや大きな商業施設ではない活用を望みます。モノづくりなどの創作活動をしている人たちへの場所提供や市民が使える貸し会議室などになってくれるとうれしいです。せっかくの学校の施設を再活用できるように。世田谷区にあった「世田谷ものづくり学校」は区内での開業や施設の老朽化で閉鎖されたと知り残念に思っていますが、品川区では持続可能な仕組みを作って個人や若者たちの活動を応援できたらいいなと思っています。
26	立地条件を生かして、公共性の高い施設、従来の縦割りの弊害のない、柔軟な発想の施設を目指してほしい。
27	発達障害の成人期以降の当事者活動、及び自立生活準備の拠点を設置してほしい。
28	カフェ・レストランを設置し、そこで発達障害の人たちが働く訓練ができる場所を作ってほしい。
29	文化・芸術の発信拠点としての役割を担う場所、具体的には、誰でもが自由に絵を描くことができ、展示できる場、楽器を奏でて、歌えて、踊れる場、コスプレを楽しむことができる場、芸人の卵たちが発表できる場、などを設置してほしい。



意見番号	意見原文
30	共生社会のモデルとして、子ども、障害者（重身を含む）、外国籍の人たち、高齢者（認知症を含む）、動物の飼い主（動物も含む）など、垣根のない人たちの集える場としてのカフェ・ドッグランを設置してほしい。
31	「今後、少子高齢化による人口減少や人生100年時代の到来、外国人人口の増加といった社会構造、経済構造の変化や、災害に対する区民の安全面を念頭に」としているが、「多様性」についての記述がないのはなぜか。例えば、「障害者やLGBなど、マイノリティと呼ばれる人達も共に生切る多様性のある社会」も加えてください。
32	周辺施設状況は、なぜ、半径500m圏内としているのか?地域を狭く設定する理由がわかりません。荏原地域には、広い区有地がほとんどありません。また、現在、児童生徒数が増加しているため、小中学校が廃校になり、まとまった土地がでる可能性も少ないです。この四中は、我々の地域からも通学していますし、大井町沿線の住民には、慣れ親しんだ場所でもあります。にもかかわらず、施設状況を、狭い区域に限定し、このエリア内のニーズしか把握しないのであれば、我が町にも同程度の広さの公共用地を作ってほしいです。区内には、老朽化しバリアフリー化すらできていない公共施設がたくさんあるのを踏まえ、荏原地域全体のニーズを踏まえて、活用方針を策定すべきだと思います。
33	避難機能の状況を見るとき、避難所の位置と数だけ見るのではなく、既存不適格な箇所があるかどうかも把握すべきです。品川区の公共施設は、建築基準法の既存不適格になっている施設が多く、防火区画や耐震機能のある昇降機などの不備があります。このような施設は、避難所としては不適であり、早急に改築しないと、区民の安全は守れません。荏原地域全体の避難所、特に福祉避難所の総点検をすることを要望します。そして、防火や耐震性能のない施設で、障害者や高齢者の要支援者の施設がある場合、まずは、これらの施設を改築することを検討すべきです。そういった、基礎的分析なく、安全性のない避難所であっても、数があればよいとするのは、本末転倒です。
34	「連続立体交差化計画や戸越公園駅交通広場等の計画が進められています。」としていますが、まるで、第三者が進めているような書き方です。それぞれの施主は誰ですか?主語を書いてください。また、品川区は、この交通計画において、どのような役割を果たしているのですか?記載してください。
35	この市街地再開発事業ですが、法定再開発ではないのでしょうか?駅前の一等地に、民間事業者が好き放題に開発しているのでしょうか?法定再開発であれば、どのような公共施設の整備がなされるのか、地域住民がどのように参画しているのかも含め記載してください。

意見番号	意見原文
36	この地域の公共施設は老朽化し、バリアフリー化がなされていません。10棟ものタワマンが作られると聞いていますが、全容を示してください。
37	市街地再開発事業が区民にとってメリットとなることは何か、必要な公共公益施設が整備できているのか、説明してください。
38	四中跡地だけで、狭い区域内の区民のニーズを満たす施設を整備するのではなく、駅前の広大な土地に民間開発事業者の利益をもたらすのですから、区民にとって利用できる福祉施設や文化施設を整備するよう、戸越公園全体を見据え、それぞれにあった施設を整備するよう誘導してください。
39	「エコルとごし」はきれいな施設だと思いますが、単機能でしかありません。戸越公園は、荏原地域の住民にとって、慣れ親しんだ憩いのスペースです。残念なのは、飲食スペースがないことです。リフレッシュメントは必要です。ぜひ、障害者施設の中でカフェをつくるのではなく、多くの人を訪れる公共施設の中に、障害者が活躍できる機能を入れてください。カフェや、施設内の壁面を活用した障害者アートの展示など、様々な活動を民間委託事業者だけに独占させるのではなく、障害者施設の運営法人や非営利組織等と協働し、多様性社会を創っていきましょう。
40	500m圏内の話をしているのに、人口は区全体で見えています。このエリアの人口と人口構成を示してください。
41	いきなり、人口構成などを記載する意図がわかりません。説明が必要になります。なぜ、区内の人口が増えているか、分析していないのでしょうか。これは、新しい住宅、特にタワマンができていないからではないですか。それを踏まえると、今後、戸越公園周辺では、爆発的に人口が増えるかもしれません。ところが、再開発事業の中で、公共公益施設を整備しなければ、施設が不足するのは当然です。民間事業者と大地主だけがベネフィットをうけるかのような再開発事業に見えます。区は、どのような立場でかかわっているのでしょうか。推進したいのであれば、既に居住している地区内や周辺住民にとってメリットのあるような開発にする必要があると思います。
42	世論調査は、どんな人を対象に、回答率がどのくらいだったのか、結果がどこかに公表しているなら、そのURLを記載してください。いきなり、一部を抜粋しており、結果の有意性の判断ができません。

意見番号	意見原文
43	赤字は、上位3位でしょうか?複数回答なので、回答率を表しているのでしょうか?説明が必要です。
44	世論調査の中で福祉施設ですが、全体では31.7%で第4位ですが、第3位の子育て施設が32.0%で誤差の範囲内ですので、ほとんど同率と言えます。これも赤字にするべきではないでしょうか。 恣意的に排除しているように見えます。
45	地域要望として、「避難所機能の確保」や「校庭や体育館の地域開放を継続」などがありますが、どこから読み取れるのでしょうか?荏原地域の人が一番望んでいるのが「福祉施設」ではないのですか。根拠があるなら、その出典を記載してください。
46	行政需要について、荏原地域の障害者施設が不足していること、心身障害者福祉会館の仮移転先が見つからないということは、行政需要にならないのでしょうか?なぜ、この3項目のみが特出しなんですか?これは、教育委員会と話し合ってきた行政需要に限定していませんか?当該地区の要望の第一の福祉保健施設が不足していることを行政需要に含めてください。
47	ワークショップで挙げられた「障害者・高齢者・外国人・若者などの居場所」は、コンセプトから外れています。排除した理由を教えてください。
48	委員会に参加している障害者団体の会長からは、入所や人居施設は初めから想定していないと聞いています。なぜ、逼迫する障害者施設の整備に活用することをしないのでしょうか。他区では、改築時の仮移転場所として、学校跡地を活用しています。そうでないと、障害者施設の建替えはいつまでたっても進みません。2年間くらいあれば、改築後に元の施設に戻ることができるので、その後、地域限定ニーズの活動場所に変えることができます。区内の障害者施設は、今後10年で建替え時期を迎えます。大田区では、同時期に建築された障害者施設を今後3年間で3施設を改築する整備計画をたて、着実に整備していきます。その他の区も同様です。品川区も、老朽化している公共施設、特に不足する障害者施設の整備計画をたてて、改築を進めてください。そのために、仮移転場所が必要になりますので、四中跡地も検討してください。

意見番号	意見原文
49	<p>「障害者が主役の芸術・文化・国際交流活動の機会を創出」としていますが、生活の場や生産活動の場が安定しない中で、第三次的ニーズである芸術活動などに特化する施設は、ぐるっぽで十分です。現在、ぐるっぽにできた美術館は、何も展示されず、別の用途に使用しています、その理由を説明してください。責任もって、ぐるっぽで推進してください。ぐるっぽでの「アールブリュット」がうまくいかなかった理由は、品川区民のための活動ではなかったからではないでしょうか。特別な才能のある作品を探すことは、国としての事業ではよいですが、区の事業として適していたとは思えません。実際、展示会では、区民の作品がほとんど展示されず、全くないときもありました。</p>
50	<p>「旧荏原第四中学校は区民避難場所に指定されています。そう遠くない将来、巨大地震の発生が予測されるなかで、地域防災拠点としての重要な役割を担っています」と記載されており、その通りだと思います。ところが、同様に福祉避難所になっている心身障害者福祉会館は、既存不適格な箇所が複数あり、災害時の安全性が確保されません。改築の陳情をしたときに、自民党の区議から、「いつ起きるかわからない災害にはすぐに備えられない」と反対され、不採択になりました。このような考え方は、今回の素案の内容と矛盾していますが、どちらが区の考え方なのか、教えてください。区民には、既存不適格で違法でないから問題なしと考えている方がいますが、既存不適格は、基準ができた時点で既に建築されていた建築物について、緩和措置をとっているだけで、放っておいてよいわけではなく、できるだけ早く改修する必要があることも説明してください。四中だけでなく、区民の避難所となる施設は、国も補助金を拠出して、防災対策を進めています。品川区も国の方針を踏まえ、早急に避難所の改築・改修を進めてください。</p>
51	<p>地域に根差した多様な活動・交流が可能となる場、地域の暮らしの拠点としての魅力・機能の向上に資するような「みんなの学び場」としていますが、なぜ、「学び」に限定するのでしょうか。活動や交流することが「学び」なんのでしょうか?学ばない活動は意味がないような書きぶりですが、もっと自然に「居場所」としてはどうでしょうか。</p>
52	<p>障害者等の主な移動手段は自家用車であるため、駐車場整備としていますが、ほとんどの障害者は、主に公共交通機関を利用しています。特に四中のような利便性が高い場所で、「自家用車」を利用するとしているのは、違和感があります。もちろん、車いす利用者の駐車場(バリフリの基準の台数)と車回しは必須です。</p>

意見番号	意見原文
53	<p>アールブリュットについては、p.15で記載したとおり。鳴り物入りで整備しておいて、何も活用されずにいるものを再び整備するのですか?この意向はどこからでてきたのでしょうか。障害福祉計画策定のためのアンケート結果にはありません。障害者のアンケートでも要望としてあがっていないと思います。障害者アートを障害者施設内に展示するよりも、街中の空き店舗やカフェ、エコル戸越等の公共施設の壁面、商店街のフラッグなど、まち中に展示し、美術館にしてはどうでしょうか。新宿区や豊島区では、障害者アートではないですが、区民の作品を様々なところで展示しています。障害者の理解増進のためには、特別な施設内の活動ではなく、街中での生活に溶け込むような活動がよいと思います。</p>
54	<p>障害者の就業支援施設ですが、カフェばかりあげられますが、そのようなニーズはどこにあるのでしょうか。アンケートを取っているのであれば、その根拠をもとに素案を作成してください。</p>
55	<p>旗の台には、このようなスポーツのできる広場は全くありません。どの地域も平等にスポーツ施設があるなら、ここに記載の内容でよいですが、体育館も、戸越体育館のような区民利用の施設はなく、エレベーターのない旗の台文化センターの3階に小さなスペースがあるのみです。これでは、高齢者や障害者は利用できません。区全体の公共施設の立地と築年数やバリアフリーの状況を示した上で、区域全体で見て、平等に体育施設等の区民利用施設の立地を検討してください。</p>
56	<p>同じ写真が何度もでてきます。導入施設については、もう少しニーズを掘り下げてください。例えば、なぜ、そのニーズを選定したのかわかる、アンケート結果等を抜粋して示すべきです。</p>
57	<p>区民の声を取り入れるなら、バリアフリーの検証は、育成会だけではなく、他の障害者団体にも声をかけ、団体以外の当事者も参加できるようにお願いします。</p>
58	<p>なぜ、障害者団体の委員会参加が、育成会のみなのか、選定理由を示してください。</p>

意見番号	意見原文
59	<p>ワークショップにも参加した者です。その時の意見が様々反映されていることを嬉しく思います。不登校児童への対応事業が組み込まれたことはとてもいいと思いました。ただ、「適応指導教室」と限定をしないで欲しいと思います。この施設の開設は5年後になります。その間に、不登校児童に対する有効な対応策は進化すると考えられます。既に、「適応指導教室」ではない、通常の学校、学級復帰を目的としない学びの仕組み（フリースクールなど）を、公立学校内外に作っていくなどの自治体の動きが全国で広がっています。この四中にできる、不登校児童のための学び、体験の場も「適応指導教室」と、現時点で限定しない方がよいと考えます。サードプレイスというならば、「復帰」を目的としない、その子その子にあった学び体験のできる新たな仕組みの場にする可能性を持たせてください。</p>
60	<p>校庭、野外スペースについて。多世代がスポーツを楽しめる場になることも大切であるとは思いますが、スポーツ施設と比べて、焚火ができたりする野外活動スペースは区内でもとても少ないのが現状です。全面ではなくても、プレイパークのように子どもが多世代と交流しながら主体的に体験できる場が急務ともいます。そのような場も融合させてつくる計画としてください。</p>
61	<p>素案にある通り、マイノリティーと言われる方々も含めた、多世代の人の交流の場、コミュニティが生まれる場であることを願います。そのためには、ハード面での整備だけではなく、コミュニティワークを行える専門家がいることが欠かせません。運営は指定管理や委託になるとしても、コミュニティワークの専門家が常駐する施設になることを強く望みます。</p>
62	<p>コンセプトにある、「多様な人々が集い・学び・助け合い・心と体の健康を育む交流拠点」となる施設になるよう様々な思いが盛り込まれていると感じました。素案の段階なので、4つのポイントすべてに夢が託されていると思えますが、旧荏原第四中学校跡地は、それほど大きな敷地ではないのでしょうか。おそらく、「安全安心を支える場」というポイントは、最も重要な点なのだと思います。そこで、実施計画には、残りの3つのポイントのうち、どれかに重点が傾くことになるのではないかと考えます。この場合、近隣に環境学習施設「エコル戸越」があることから、これと連携できる文化的な施設（図書館機能を備えた施設）を中心にする、相乗効果を発揮し、多角的な学びの場として機能するのではなかろうかと思えます。区行政区画は跨ぎますが、沿線の大井町線には東京工業大学があり、アカデミックな環境も整っています。SDGsの環境分野を分け隔てなく学ぶことができる施設になるように期待しています。</p>

意見番号	意見原文
63	<p>戸越公園集合住宅再開発の計画があり、駅前に高層マンションが建設されるようであるが、旧荏原第四中学校跡地からの直線距離がさほど遠くはない立地となっています。また、地勢的にも丘陵部突端の傾斜地付近に高層建築物が建設される予定となっています。この建築物で、当地での風の流れが、大きく変わることが予想され、旧荏原第四中学校付近では、昼間の海風で南から煽られ、夜間の山風で北から吹き降ろされ、強い風に注意する必要があるのではないかと思います。旧荏原第四中学校跡地は、近隣に高層建築物が建つことを考えると、オープンスペースのスポーツ施設・公園ができると、ビル風による風害で、スポーツをする環境が害される恐れがあると思います。グラウンドでの球技やバランスを要する競技を想定するのであれば、風による影響を極力小さくするような工夫が必要なのではないでしょうか。</p>